

東日本大震災報告書

「がんばろう日本！！」

平成23年4月8日現在

船橋東ロータリークラブ 大原俊弘

3月14日

本日、千葉の美浜区で砂の除去作業をしました。

被害状況の写真をアップします。



液状化現象で砂が地面からあふれ、流れて来た砂が住宅街を襲いました。驚くべき光景です。



重機を持っていき撤去作業をしてきました。

明日以降も要請があり次第出動します！

みなさん辛い時期ですが力を合わせて共に頑張りましょう。

3月16日



千葉県旭市に向け出発します。

隣にいるのは、まるごみのコウサクです。

コウサクは山梨県の甲府からの到着です。

頑張って行ってきます！



旭市まであと少し...
ですが、ガソリンスタンド渋滞です。

動けない！



到着しました。





受付をしてから地元商工会議所の加瀬さんと現場に行きます。



旭市にある4箇所の避難所の内の一ヶ所で、飯岡という地区です。

現在も180人が、ここに避難しています。

4日前は1000人も避難していたそうです。

旭市では、12人の方がお亡くなりになり、未だに3人の方が行方不明です。



これから帰ります！

写真は疲れたコウサクです💦

帰ったら、たくさんの情報をアップします。

千葉県旭市飯岡という所に行ってきたのですが、被災地に行ってたくさんの事を考え勉強させられました。

情報だけでは分からない事がたくさんあり、ボランティアに行く事の覚悟、思い違いや、逆効果になる事、伝えたい事がたくさんありますが、一番初めに知らせなければならなかった事を載せます。

現地では復旧作業が急ピッチで進んでいて、私が見る限りボランティアの人や救援物資が必要なのは当たり前なのですが、たいていの物はそろっていて特に食糧は十分すぎるほどであると聞きました。

そんな中、実はボランティアする所が無いのです。誤解されるといけないので詳しく書くと手つかずの所はたくさんあるのですが要請が無いので何もできないのです。

例えば下の写真です。



このお宅は中の荷物をほとんど表に出して回収を待つ形になっていますが、下の写真のお宅は……



見ての通り家の中がグチャグチャで何も手が付けられていません。

この2軒は10mも離れていない所です。下の写真は持ち主が避難所に行っているか、遠くに避難しているか、動けないか、他人に入られたくないか、誰に相談すれば良いか解らないのか、理由は数え切れないほどあり分かりませんが、ボランティアの要請が来ていないそうです。

なのでまず一番に被災者の方にボランティアの依頼方法を載せます。

家の片づけなど
私たちが手伝います
～ボランティア～



△ ボランティアの依頼方法
電話かファックスで旭市災害ボランティアセンターへお申込みください。
(ファックスで申し込む場合は連絡先・詳しい状況・希望日時・希望派遣人数をお知らせ下さい)

△ 受付期間
3月15日(火)～3月31日(木)

△ 受付時間
電 話：9:00～16:00
ファックス：毎日24時間

☆お願い：
私たちボランティアでは、ご要望にお答えできない場合もたくさんあります。その場合は必ずご連絡しますのでご了承下さい。
また、住民の皆様で片づけなどお手伝いいただける方、ぜひボランティアとしてお手伝いしてください。
皆様にご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、温かい目で見て下さい

旭市災害ボランティアセンター
住 所：旭市横根3520番地
電 話：090-3042-6542
ファックス：0479-57-2836

これは現地のボランティアセンターで配り始めていた物ですが、なかなか周知する事が難しい様で、少しでも知ってもらおうと載せます。旭市の方で困っている方がいたら一度相談をしてみてください。

被災者の方々の苦しみに比べたら比べものになりませんが、今回の計画という名の無計画停電で私達も苦しんでいます。

取り急ぎ千葉県旭市の被害状況をアップします。



この川を津波が上がってきました。



ほぼ崩壊状態です。



壁は無くなり中にあった物はすべてダメになってます。片付けがかなり進んでいます。



奥の家は崩れています。



見ての通りです。



商工会議所青年部の武多和さんの自宅です。私も映っています。



武多和さんのご自宅はかなり片付いていますが、生活用品は何もありません。
明日からどうするのか？ 本当にぼう然とします。



武多和さんの裏の家ですが、自動車が

家の中に入っています。



こちらのお宅の方は残念ながら
ら・・・・・・・・・・。



ご覧のように道路に荷物を出して運ぶのですが、集積場一杯でなかなか撤去が進まないそうです。

ストレートに感じた印象はショックのみです。テレビでは東北地方の状況をたくさん見てイメージはしていたつもりでしたが、言葉になりませんでした。

規模は東北地方と比べると小さいですが（比べる事は不謹慎ですが）、テレビで見た光景と同じ光景が千葉にありました。

どうすれば・・・・・・・・・・・・・・・・。

3月18日

今日は浦安に行っています。



浦安のボランティアセンターには一日約700人のボランティアが集まっています。

特に目立つのは、中学生から20代前半の若い人たちです。

たくさんの人が集まって復興活動していますが、写真を見てわかると思いますが、まだまだどうにもならない状況です。

しかし、ボランティアといっても決して半端な気持ちで行かないでほしいです。本当に大変です。

年齢や見た目で活動の内容は振り分けられるのですが、男性は基本的には土のかき出し作業です。はっきり言って重労働です！

写真を良く見て考えてください。覚悟をしたうえで自分のペースで少しずつ手伝ってもらえたら被災者たちは喜びます。

頑張りすぎると二度と行きたくなるので、絶対に無理をしないで時間の空いた時で自分のペースで周りにつられないで作業してもらいたいです。







ボランティアセンターに行ったらまず自分の個人情報を登録して、名前と血液型を書いたテープを腕に張って、注意事項の説明を聞いたあと班長を決めて10名くらいのチームを組んで現場に行きます。作業は休憩をはさみ4時くらいまででした。
食事はおにぎりや飲み物が休憩所にはありました。

こんな内容では行きたくなるかもしれませんが、これが事実です。

分かった上で行ってもらえる方がいたら
どんどん行ってもらいたいです。お願いします。

ただ、直接的な支援だけが支援ではありません。

自分に出来る事は何か？
無理をせず小さなことから……大切なのは思う心です！！



写真の通りです。

3月18日

皆さん、お願いです！長文ですが最後までしっかりと読んでいただきご判断ください。

私が活動している「まるごみ船橋」というボランティア団体で支援が出来るような話が来たので皆様をお願いします。

(株)日本都市は、まるごみ本部の石田さんを通して下記の活動をします。

以下石田さんからのメールの抜粋。

表題の件ですが、このところの東北被災地各地の情報を集めたところ、必要な物資が見えてきたので皆さんにご報告します。

現在宮城県石巻市の最前線で支援している友人がおりまして、最新の情報をもらったのでまずお伝えします。

「め組 JAPAN」というチームで、現在石巻市吉野町 1-3-21 湊小学校に前線基地を置いていますが、このチームは政府の支援の行き届いていないところをピンポイントで支援しているチームです。
例えば公認避難所ではないが 500 名ほど収容しているお寺さんや、倒れなかった家に寄り合っている
近所の集まり的な避難所などの、報道や行政情報で行き届いていないところをフォローしているそうです。

↓

以下今朝 4 時頃届いた現地レポ

め組 JAPAN はかなり被害を受けた石巻地区を担当することになりました。現場は毎日、状況が変わるし、必要な物も変わる。

今日の朝、本部にしている湊小学校に行ったら、昨日と全く景色が変わっていた。

たった一夜で道路がめっちゃ広がっていてビックリした。

これが日本の復興の力なんやとワクワクした。

今、被災者の人たちが求めているのは、温かいものが食べたい！ってことやってん。

後ね、携帯電話の充電をしたい人がいっぱいいるねん。

だから、携帯の充電器が余っている人がいたら送ってちょうだい。

それでは今、欲しい物を下記に書くから出来るだけ一日でも早く送ってな。そして、募金もほんまに助かってます。とにかくどんどん必要なものを買っていくので今後も募金をよろしくお願いします！

俺もガンガン、ツイッターでつぶやきたいねんけど、ドコモの中継地点が津波で流されたみたいで、とにかくドコモが全然、使えないねん。

ちなみにソフトバンクとAUはかなり使えてる。

ただ、安定してないねんな～。

『それでは募集するもののリストです』

@食料品：パン、缶詰、カロリーメイト類、コーヒー、茶っ葉、お味噌汁、粉ミルク

@防寒具：毛布、ひばち、炭、着火剤、銀マット、ホッカイロ、携帯の充電器、単一電池、単三電池。

@生活用具：ウエットティッシュ、新品の下着、ストーブ、電源のたこ足、新品のタオル

@道具類：長靴、手袋、ゴム手袋、スコップ、ブルーシート(出来たら厚手)、小刀、ろうそく(地震が来ても倒れない)、ガスコンロ、ガスボンベ

『注意事項』

仕分け作業がめっちゃ大変みたいなので 出切るだけ一つの段ボールに同じものを入れておくって下さい。

だから、個人で集めるより、TEAMで集めた方がいいと思います。

ぜひ、自分の街で TEAM を作ってほしい。

今、め組 JAPAN 関西があるように、それぞれ、チームを作ってほしいです。事務所の体制が整えることが出来たら、本部とそのそれぞれのリーダーさんが密に連絡とりあえるようにしましょう。

今日、栃木から、10トントラックと4トントラックで仲間達が日光の水を汲んできたり、めっちゃいっぱい物資を運んできてくれて、水を汲みながら泣いてる主婦の人もいた。

後、昨日も書いたけど、ほんまにメッセージが響くって。

届けてくれる物資に、被災地のみんなへのメッセージを書いてあげて欲しい。

湊小学校の先生は「ただただ生きる！」っていうメッセージに感動しましたって。

いま現場はときおり雪が降って来て、とにかく寒い。

寒すぎて凍死してしまった人もいる。その中、ブルーシートをひいて、毛布をひいて、かける毛布がない人もまだいはる。

だから、なんとか、体と心が温くなるようなことをしたいねん。

とにかく、みんなで、車も家もなくなって、また、時には家族が亡くなった人もいはる。

そんな人たちを元気にするために、みんなで応援しましょう！

めでたい世の中をつくる、緊急支援チーム、TEAM め組 JAPAN、今日も元気にいきまっせ！

これが今朝現地から来たりレポートです。

そこで石田さん・コウサクとも相談したのですが、(株)日本都市でも物資を集めて現地に届けてあげる計画を立てています。

具体的には石田さんの会社の4トントラックと、日本都市のトラック、それとZERO1の大谷晋二郎さんのトラック、これらに物資を積んで石巻や郡山、そこまで行くのが困難であれば栃

木のハブ基地に届ける作戦を実行
するべく準備を進めています。
また、東北道を通行するための許可証
については警察が手配していますが、
具体的に何をどれだけ積んでいくの
かを申請しなければなりません。

上記の現地レポでもわかるとおり、こ
まごまごちゃ混ぜに送っても迷惑が
かかるだけになってしまうので、日本
都市でまとめて「一つの品目」で、で
きるだけ「一箱」にまとめて提供して
いこうと思います。

今一度、最前線の被災地からのリスト
を書きますので、これなら出せるよ、
という品目を確認してください！！

@食料品：パン、缶詰、粉ミルク、カ
ロリーメイト類、コーヒー、茶っ葉、
お味噌汁

@防寒具：毛布、ひばち、炭、着火剤、
銀マット、ホッカイロ、携帯の充電器、
単一電池、単三電池。

@生活用具：ウエットティッシュ、新
品の下着、ストーブ、電源のたこ足、
新品のタオル

@道具類：長靴、手袋、ゴム手袋、ス
コップ、ブルーシート(出来たら厚手)、
ガソリン(携行缶ごと)、軽油(携行
缶ごと)、ガスコンロ、ガスボンベ、
小刀、ろうそく(地震が来ても倒れな
い)

なお、集まった物資はできるだけ早く

現地に届けたいと考えていますが、
原発の危険性もある中なので、リアル
タイムに情報を取りながら現地まで
行ければ

現地に、難しい状況であれば栃木県の
ハブ基地まで届けるか、自衛隊を通じ
て送るなり、何らかの形で責任をもっ
て被災地に届けさせていただきます。

我々の住む千葉県も甚大な被害を受
けている中ですが、命の危険がすぐそ
こまで

迫っている厳寒の東北地方にも出来
る限りの支援をしようという判断に
なりました。

皆様のご理解とご協力をお願いいた
します。

また物品がなくても義援金なら送れ
るよ、という方は、まるごみの口座ま
で

送金いただければ、そのお金で必要物
資を買わせていただき、現地に届けま
す。

【まるごみ口座】千葉銀行 浦安支店
普通 3600739

トクヒ)ユープロジェクト マルゴミ
ジッコウイインカイ リジ ムカイ
コウサク

振込人名義の前に、「ギエンキン」
と明記していただけると助かります。
(例；ギエンキン イシダマサヒデ)

以上です。皆さんお忙しいところ恐縮
ですが、ご協力のほどお願いいたしま

す。

うまくいけば第一便は明日には出発できるかと思しますので、可能な方は早めに情報をいただけると助かります。取り急ぎ以上です。

送付先ですが、

千葉県市川市大野町 2 - 6 0 3
㈱日本都市 資材センター
TEL 047-703-7617
FAX 047-703-7613

お間違いのないように宜しくお願い致します！

株式会社 日本都市
代表取締役 大原俊弘
社員一同

いま緊急物資通行証を無事いただきました！

日曜日の朝出発しますので、皆さん引き続き支援物資のご提供をお願いします。

行き先は福島県郡山市の薫小学校と、宮城県石巻市へ行く便に載せるために栃木までまず第一便としてコウサクと石田さんとゼロワン(プロレス)の大谷さんが4トントラックで走る予定です。

私は予定通り22日の火曜日に行きます！！



支援物資はこちらでまとめますので、ほんの少しでもかまいません！

あなたのやさしい心を…………… お願いします。

3月19日



昨日の午後に集め始めた救援物資がもう集まりだしました。写真以外でも電話、メールで郵送済みの連絡が来ています。

こちらでまとめますので本当に少しで構いません。

みんなで気持ちを送りましょう!!

支援物資、たくさん集まりました!!

まずは、第一便として明日持っていく物を石田さんに託しました。





これから、許可の下りたトラックに積み直して明日持って行ってもらいます。

たった一日でこんなにたくさん集まりました。個人の少しずつの力がこんなにも大きくなりました！

物資の輸送に対はかなり厳しくなっているのでどんな状況になるか解りませんが、明日まず持って行ってもらいます。

支援者の方々は何らかの形で追って皆様にご報告いたします。

今後もし協力宜しくお願い致します。

3月20日

おはようございます。

道路ですが会社が休みの人が多いよう
うで朝5時30分の時点ですでにガ
ソリンスタンドの渋滞が点々と出来
ています。

道路がすいている所にいきなり渋滞
するので十分注意しましょう！！

あまりにも嬉しかったのでアップします。

ミャンマーのガイド・フィリピンのガイドか
ら今回の大地震での安否を心配する電
話がありました。

お金もないのに自分達の生活費を削っ
て電話代を捻出して………大変なことだ
という事は私自身が良く解っています。

今回の大地震を世界中のみんなが心配
してくれている事を報道ではよく見ます
が、自分自身の肌で感じました。

復興までの道のりは想像できないほど
長いですが、自分に出来る事を一生懸
命頑張ります。

みんなの熱い思いを載せて今、出発し
ました！



詳細は、コウサクからの連絡を待ちま
す。

前列左から石田さん、大谷さん(プロレ
ス)、コウサクです。

報告では郡山市の薫小学校付近にある、物資搬入拠点になっている「ビックパレット」という所に持って行きました。



無事ビックパレットふくしまに到着しました！
現地ボランティアの皆さんと一緒に、皆さんからお預かりした支援物資を全て荷し、みんなで記念撮影！



ここ郡山市もかなりの被害を受けている中、自分たちのことはさておき、ここに駆けつけてお手伝いしているボランティアの皆さんに頭が下がります。

これから復興に向けて長い長い道のりになりますが、共に頑張っていきましょう！

では、コウサクからの報告をまとめます。

現地の状況ですが、ビックパレットに限っては、ご覧の通り物資はかなりある状況で中古の物は使わず新品から無くなっているようです。

他の場所もその可能性が高く、話を聞くとテレビで物資が無いと言うと3日以内にはそこに届いているようです。

「め組 JAPAN」というチームが現在石巻市吉野町 1-3-21 湊小学校に前線基地を置いてる所はすでに物資が届いているようで、
やはりピンポイントで情報を貰い直ちにピンポイントで行くしかないようです。

したがいまして無駄になっても意味が無いので、ここからの支援物資は新品を中心にお願いします。

3月21日



明日に向けて支援物資が続々と集ま
ってます！

凄いパワーを感じています。

コウサクからの報告です。原文のまま
載せます。

おはようございます

KOUSAKU です。

無事何事もなく昨日福島県郡山市のビ
ッグパレットという大きなイベント施設に
物資を届けて参りました。

【ご報告】

先方の陣頭指揮をとってくれていた地元
郡山の方々をはじめとした、高校生のボ
ランティアや青年部のみんなはみんな
家が傾いたり大変ななか、元気に力を
合わせてボランティアをしていました。

一緒に行った僕のボランティアチームで、
副実行委員長をやって頂いている
ZERO1という団体の社長兼プロレスラー
の大谷晋二郎さんファンが多くいらっし
やいました。その中には20年前、福島中
央テレビで僕が番組に出演していたの
で、その番組のことを覚えている方々が
いて熱く向かい入れていただきました。

皆様から頂いた物資は4トントラックいっぱ
いでしたが、この熱い仲間たちとあっと
いう間に運び出し、大変喜んで頂いたの
が本当に嬉しかったです。

避難されている方々は、海側の富岡と
いう町をはじめとした地震・津波・原発の
被害を受けた方々1600名。まだ、昨日も
バスなどで続々と避難してきて、おそらく
2000名を超えたと現地のの方は言って
いました。

避難所は通路、フロア、イベント会場の
すべてに人・人・人。段ボールを立てて

で自分のスペースを確保出来て方はまだいい方ですが、通路で毛布を敷いて寝ている方々は、常に目の前に靴が行き交う状態。あれではストレスが溜まらないわけないと思いました。

そんな避難所で話をいろいろ聞いて歩き、ひとりの女性からの話しですが、『私の町、富岡町はでは海そばの多くの家屋は地震後の津波にのまれ、高台だった私の家、近所の住民たちはそれでも復旧に向けがんばろうとい矢先に翌日突然の避難命令を出されました。

電気系統の復旧もないままだったので、テレビが映らず「なんで避難なの？・どうせ明日には戻れるだろう」と着の身着のまま避難。

10 キロ県外、20 キロ県外と避難して現在の郡山ビッグパレットには3日前に入り、遂に避難して10日も経ってしまいました。

避難所دة入ってくるテレビ・ラジオの情報で原発が爆発したと知り、そのままにしてきた家やペットのことと思うとやるせなさや悲しさや怒りで眠れない』とおっしゃっていました。

何が一番つらいか？

それは、「いつ帰れるかわからない」ということだそうで、イライラと先の見えない生活に不安を訴えていました。

昨日もそんな空気漂う避難所で、ストレスからか？倒れてしまうお年寄りが2名酸素マスクを付けて救急車で搬送されました。

明日も見えない生活。

そんな敵と戦う被災者の皆さん。しかし地元ボランティアで無料針治療をしてい

た方からは、こんな意見も。

『僕の実家は南相馬市で、実家は津波でなくなりました。お父さん・お母さんはなんとか一命を取り留め、現在は会津若松の親戚の家に避難。僕は郡山で鍼灸の仕事をしていますが、今は仕事もないし、家にいても仕方ないのでここで無料ボランティアとして入りました。3日ほど前から人が続々と増え、最新は神妙な面持ちの被災者方々も2日も断てばこの生活に慣れ、食料もあるし、水や毛布もある。義援金も集まって来るし、全部ただでしょ。

そんな感じで一日何もしないで寝てばかり。ボランティアで入っている地元郡山の僕らも家が無事とは言え、半壊した家の片付けもしないで頑張ってる人ばかり。なのに動ける人もいっぱいいるのになんで自分から動いてくれないんだ！？精神的につらいのはわかるけど、これじゃやってられない。義援金だってあっちこちで有名人の方々が一生懸命集めているのに逆に申し訳ない』そんな不満をもらしていました。

現地に行かないとわからない声で、この声を聴いて行った意味があると思いました。

地震発生から10日目の昨日3月20日。ボランティアで動く側も受ける側も精神状態はよろしくないかなと。

でもそんな中、一生懸命外で炊き出しの豚汁を作ってた木谷畑一正(きやはたかずまさ)さんという被害のあった富岡町消防団の方は『家がなくなっちゃってよ！今着てる服はもう5日目だよ、参っちゃ～よ、大変だ～！！

地震・津波・放射能。特に放射能は目に見えねえからよっかいだな。消防車のホースでバァーっと流せんなら長っしゃあけどよ、見えねえから何処にかけていいかわかんねえべ。まぁ～流されたのは家だけだよ！！カッカッカ(笑)

どっから来た？浦安っ！？ディズニーランドに行くのにここは夜中 3 時に出んだよ。千葉かっ！？千葉はいいよな千葉に引っ越すかな！！カッカッカ～！！(笑)』大変な自分の状況にも関わらず、めちゃくちゃ明るい方。逆にパワーもらっちゃいました。

その他、子供達が元気に遊び回ってる姿を見て僕も笑顔になりました。

電気もなく、ましてやゲームなんて・・・でも子供は遊びの天才。段ボールで作った積木やボールで一生懸命遊んで、不謹慎だこども子供のためには少しいいかもって思いました。心の傷や重さはわからないけど、きっとこの子たちが次の未来を創ってくれるって、間違いだらけの今の日本や世界を変えてくれるって遠くから見つめてました。

今回この現場に行けたことは、歌や DJ とメッセージを発信する僕にとって、またまるごみといボランティア団体の代表として大变得るモノが多くありました。

これは物資をご提供して頂いたありとあらゆるプレーンの皆様？物資を集め「自分の手で届けるんだ」と発信し集めた物資を細かくまとめ、車に運び入れたゼロワン大谷社長やレスラーの皆さん。同じく連絡してすぐに物資を集め作業された株式会社・日本都市、車を用意し、前日遅くまで一つ一つ物資をチェックして車

に運び入れたダイムの社員の皆さん。生き返りガタガタの東北道路を運転してくれた石田事務局長。今回バタバタの中で残念ながら手違いもあり、お会い出来なかった郡山の河村さん。彼が自転車で走りながらビッグパレットの情報をかき集めたからこそ行けたこと、またその河村さんを繋げてくれた森さん。これだけの方々の「想い」が一つになり、行く機会を与えてくれたこと。必ず次に繋がります！！必ずみんなで前に進みます。

幸せのカタチは人それぞれ違いますが、世界共通なのは笑顔です。一人でも多くの笑顔を取り戻すために出来ることやっていきましょう。皆さん本当にありがとうございました。

ちなみに明日また福島県南相馬市に飛ぶことになりました。新潟の NPO の方が毎日物資を届けていますが、1100 人の方が避難出来ず飢えと戦っています。

すでに船橋大原さんが食料集めをしていて、僕も昨日浦安に着いてから呼びかけをして先輩から 10 万円と山梨のスーパーやまと社長から頂いたお米 250 ㌔があります。先方はかなり切羽詰まっています。急ぎです。

明日朝 6 時に船橋の大原さんの会社を出発します。

引き続き食料ありましたら大原さんへ

3月22日



福島県南相馬市に向け出発しました
!



東北自動車道上河内パーキングです。

緊急車両以外いません。

凄い光景です。



当初予定していた南相馬市には放射能の問題で今日入れなくなり、南相馬市の人達が避難していた猪苗代のスキー場に急遽運ぶ事になり写真がその場所です。

ここにも20人の方が避難していて、ここに物資を集め振り分けています。



ボランティアの人に聞くと、現場は日々必要な物が違うので、とても難しく皆さんの気持ちを無駄にしないようにするために苦労してるそうです。

この後、郡山によって状況を確認してから帰る予定です。





この写真は、1800人が避難している福島のパレット(イメージ的には幕張メッセのような感じ)という建物の内部の状況です。

写真を撮れる勇気がなかったのですが、みなさんに伝えるために勇気を振り絞って撮った写真です。

写真は通路の一部分で、中は想像をはるかに超えた光景でした。

この状態で1800人の人が寝起き、生活をしているのです。1800という数字を打つのは簡単ですが想像してください、本当に1800人いるのです。

今まで、普通に家があり普通の生活をしてきた人たちがいきなり、家がなくなったり、原発で帰りたくても帰れなくなった

り、今まで普通に暮らしていた人たちが……。

堅い床に段ボールや毛布を引くだけの簡単な寝床を作りそこでじっとしている。お年寄りが辛いのは当たり前ですが、若い人でも耐えられないと思います。

11日前は私たちとなんら変わらぬ生活をしてきた人達が……自分に置き換える事が出来ませんでした。



伝言版には、家族・親戚・仲間を探すメモがたくさん張ってあり、テレビやラジオでは伝えきれないほどの鬼気迫るものがあり、私の心の中にどうにもならない絶望感が湧いてきました。



支援物資が運ばれてくるブース内ですが、避難している人達の場所からは行けないような工夫がされていました。理由は聞けませんでした。たぶんみなさんと同じ事を私も思っています。たくさんの物資が運ばれてきて、一見問題ないように見えますが次の写真を見てください。



1800人が朝・昼・晩、食事をして生活する量ははたしてどの位なのでしょう？

例えばカップラーメンだとすると1800個で150箱、一日450箱必要なのです。どう見てもそんなにありませんし、何日続くか解りません。

中古の洋服などもたくさんありましたが、11日前まで私たちと同じ生活をしていた人がいきなり他人の洋服を着れるのでしょうか？確かにみなさんの温かい気持ちな事は百も承知なのでしょうが……自分だったら着れるのか？

2日前とは状況が全く違うそうです。毎日毎日必要なものが変わって、正直何が必要なのか分かりませんが、確実に言える事は私たちの余った物・使わなくなった物を支援物資として送るのではな

く、私たちが今必要な物・使っている物を支援物資にしなければならない事です。この事実をみなさんで伝えてください！皆さんの少し少しをこちらでまとめ運んでいます。支援物資(新品)はまだまだ集めています。

情報が混乱していますが、明日は宮城県石巻市に行くことになりそうです。これから物資を整理して準備をします。

宮城県石巻市から靴が無いとの情報と福島郡山でインスタントラーメンが欲しいとの情報で、石巻分の靴450足を集め、郡山分のインスタントラーメンを積んで明日向かいます。



3月24日



満載です。

倒れないように注意して行きます。

運転に専念するのでまた後で!



絶句です。

私は、報道関係者でもジャーナリストでもないので上手な文章や写真を皆さんに提供する事は出来ませんが、私が見たありのままの姿を報告します。

今回、宮城県石巻市不動町付近で石巻市民会館隣の『石巻市勤労者余暇活用センター明友館』という所に、皆さんが持ってきてくれた支援物資を運んできました。

この場所は、DJのコウサクが『まるごみ』の活動を通じて連絡を取った方たちの避難場所になっていました。ここには約100人の被災者の方たちがいて、中は今まで見てきた避難場所の中で最もひどい生活環境でした。



下の写真の方は、この避難所をまとめている千葉さんで、私たちは彼と連絡を取っています。



衛生的に一番ひどいのはトイレです。水が無いので、用を足した汚水が溜まっている建物の下まで汚水を汲みに行き、その汚水をまたトイレで流して使う・・・これを繰り返すのです。想像できませんが、現実でした。



明友館1階内部の現在の状況ですが、片付けがまだ終わっていません。



下の写真は、階段の踊り場部分を調理場になっているようで、ガスボンベをヘドロの中から掘り出してガスコンロを探し出し、何とか火を使って調理をしているようですが、ここで約100人分をどうやって？何を作れるのか…



下は避難場所ですが、ご覧の通り津波が押し寄せた跡が良く分かります。ここに逃げて来た人はどうなったのでしょうか？津波がここまで押し寄せるなんて、想像できなかったと思われます。



ちなみに下の写真の左の建物は『明友館』です。



街の様子を数枚アップします。



車がおもちゃのように挟まっています。



電柱が折れていたり、道路に船があります。



片側の車線には家が流されて通行が出来ませんが、標識の工事をやっている私たちが見てもあれだけ大きな標識が曲がるのは信じられません。



牛角が見えます。かなり栄えていた場所のようですが、壊滅的です。



赤い物体はカニ缶の工場のシンボル看板だったようです。左側は2車線の道路ですがヘドロで埋まっています。

見えている道路は片側車線で、奥に見える木は中央分離帯に植えてあった物です。という事は、左側は全て埋まっている事になります。

自衛隊の人たちが片側だけ通れるようにしたようです。



大型トラックが簡単に流されてしまっています。



ここは石巻市立湊小学校です。
教室の中で皆さん生活をしています。
こんな状況では避難所とは言えません。



小学校の入り口も破壊されています。



彼らは外国からのボランティアなのか、
現地にいた外国人なのか……

どう見ればよいのか分かりませんが、ど
ちらにしても治安は最悪です。



現地は川から上がったと思われるヘドロ
(10～20cm)が町中に広がっていて、
数日前まで車はもちろんの事、自転車も
走れない状況だったことが良くわかりま
した。

自衛隊の方が何千人も来て、道路の復
旧と遺体の発見に尽力して現在の状況
になっているようですが、まだまだ大変
です。

時間が無くなってしまったので、今回の
報告はここまでにさせていただきます。
次は現地の人に聞いた話をアップしま
す。

3月28日



写真は、A - T R U C K社長の守屋さんです！

熱い社長で松戸大栄青果の中根社長から4ト一杯の野菜を支援してもらい自ら運転中です！

まだまだ先は長いですが、チームまるごみ！頑張っているんです。



さっき出発しました。
石巻の人達に皆さんの気持ちを届けてきます。



あと20キロぐらいで石巻です。



明友館の皆さんが本当に喜んでいました。

詳しい報告は戻ってからさせていただきます。

とりあえず帰ります！

まだ栃木県です 🇯🇵

往復 1 0 0 0 キロはさすがに長い !!

でも...野菜もパンも洋服もそして断熱材も明友館の人達は大喜びだったな ~ 🍵

今日、ずっと運転してくれた A-T R U C K の守屋社長と森本常務に感謝です。

そしてすべての人に感謝します 🎶

支援物資輸送編と現地レポート編の2部構成でアップします。

一台目での積み込み状況、時間は朝6:00です。



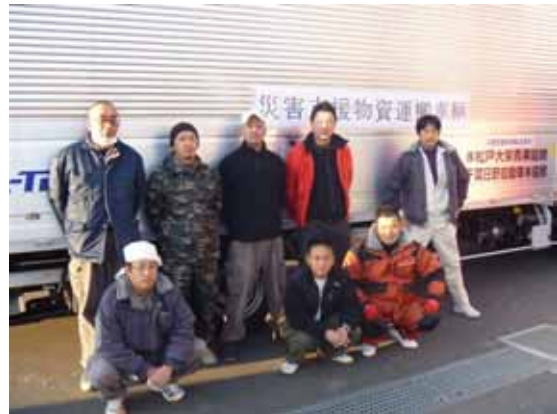
トラック後ろに積んであるのは床に敷く断熱材で「まるごみ義援金」で頂いた資金で購入しました。義援金を出して下さいの方、他にもたくさん緊急の品物を購入し運んでいます、まず感謝の気持ちを書かせていただきます。

「ありがとうございます！」

下の写真は2台目です。



朝から積み込みに協力してくれた人達です。 気をつけて行ってきます！！



皆さんからたくさんのメッセージを頂きましたが、3枚載せさせていただきます。





東北自動車道路、仙台付近の写真です。

道路は復旧はしてありますが、ご覧の通り地震の影響でかなりの段差があるので東北道を通りしようとする方は十分注意してください。



明友館に到着すると同時に皆さんにあたたかく出迎えていただきました。



野菜は本当に不足していたようで、キャベツ！ ニンジン！ ねぎ！ お～～トマト！！ など声を出しながら喜びのリレーをしている所です。（松戸大栄青果の社長、大量の野菜にみんな喜びを超えてビックリしていましたよ！！）



若い人から女性まで手の空いている人は手伝っていました。
石巻に来て女性の笑顔を見たのは初めてでした！



大量の物資でだいぶ疲れてきていましたが、カメラ目線頂きました！！



船橋市海神小PTAの方々が集めてくれた衣類など、たくさんの方々の支援を頂いて、安心感が出てきていました。



船橋市芝山のパン屋さんの瀬之口さんが焼きたてのパンを提供してくれて、みんなさんに配りました。



野菜や衣類、その他たくさんの生活用品が届き、久々に出来たてのパンを食べて安堵感が出ていました。



みなさん、嬉しそうにしていました。



家が無くなり、家族が……親戚が……笑顔など絶対に見れないと私は思っていました。



しかし、支援物資や義援金を持ってきていただいた方々や日本全国のあったかい気持ちが届いた瞬間を感じました。



わき目もふらず動物パンにかぶりついて
いる子供を見ると、みなさん何か感じま
せんか……？



明友館リーダーの千葉さんは、嬉しそう
にメッセージを玄関に貼っていました！！



復興にはまだまだ時間がかかり長期戦
になると思われますが「みんなで力を合
わせて頑張る」と力強く最後の言葉を交
わし、ガンバレ、ガンバレと心の中で何
度も祈りながら明友館を後にしました。



これからも「チームまるごみ」、力を合わせてDJコウサクがいつも言っている繋がりを大切に、ほんの小さな一つのゴミを拾う事のように自分たちの出来る無理のない支援を今後もコツコツと続けていきたいと思っています。



みんなの思いは確かに届きました！！

3月28日(月)現在の石巻の現地レポートをさせていただきます。

先ず下の写真は南浜町から撮った門脇小学校です。震災直後は原油まじりの津波に火が点いて一晩中燃えていたそうです。



下の写真は震災前の南浜町周辺です。写真、真ん中左上が門脇小学校で、下が海で、右の白い建物が市立病院です。



日和大橋の上から南浜地区の写真です。右の建物は石巻文化センターです。



雲雀野公園から門脇小学校に行く道路沿いです。昨日まで通れませんでした。今日は自衛隊が砕石を敷いて取りあえず通れるようになっていました。



ココストア辺りから撮った写真です。



私立病院の看護師宿舎です。



左はじに写っているのは市立病院です。



奥の工場がここから見える事がビックリだと言っていました。



壊滅…………



ビックリしました！
神社があったようですが、この状況の中
あの木だけ残っていました。



海岸沿いです。



場所がかわりまして、湊小学校にサッカーリーグのベガルタ仙台の選手達が支援物資を持って来ていました。これから子供たちとサッカーをするようでした。



湊小学校をすべて統率してリーダーとしてしっかりと動かれていた石巻市議会議員の庄司慈明さんです。 本人も被災しているのに本当に一生懸命頑張っていました。



下の写真は小学校の裏を3階から撮った写真で、ここからが大変です。



写真は石巻市総合運動公園にテントを張り野営をしている自衛隊の人達です。



1000人なのか2000人なのか分かりませんが、ものすごい人数の自衛隊の人が地震直後からここでテントを張り救援活動や道路の復旧をしているそうです。

この一つのテントで何人生活しているのか分かりませんが、正直な感想としてビックリしました。

この人たちがいるから……………。

自衛隊のすばらしい活動をテレビなどではよく見ますが、何日もテントで暮らしながら、あのようなハードな活動をしている事は知りませんでした。



寒いし、雪も降る中で被災している人達も本当に大変だと思いますが、自衛隊の人たちの実態も広く知らせなければいけないと思いました。



写真や私の下手なブログ・下手な文章ではなかなか伝わらないと思いますが、現地に行かなければ分からない事を私なりに皆さんに伝えたいと思います。

昨日のサッカーで三浦カズが魂の得点を入れ感動しました！
あのメンバーの中で44歳のカズが得点をする事がどれだけ奇跡的な事か、サッカーをやった事のある人ならばすぐに分かると思います。

奇跡は起こるのですよね、これから奇跡的な復興を私達日本人はしなければなりません。

「がんばろう 日本！」まさにそれですね。

4月1日



ちょっと暗いですが、写真は石巻で頼まれたバイクです。これと他の物資をまとめて届けてきます。



写真は今日トラックを出してくれた佐治社長です。

これから福島のパレット経由で石巻に向かいます。





今、菅生パーキングです📍
これから帰ると夜中の2時頃かな...

石巻の詳しい報告は後でします！

それと、火曜日に陸前高田市に行く事になりました！

皆さんが持ってきてくれた物資を明友館の人達と降ろしています。

今回は、スーパーカブ(原付バイク)4台、断熱材約150㎡分、たくさんの缶詰などを持って行きました。



今回は船橋東ロータリークラブから義援金をたくさん託され、その義援金で必要な物資を買って持って行きました。



今回はDJ.KOUSAKUとDJの小川もこさん同行で行きました。生の現場の本当の状況をラジオやテレビで伝えてもらいます。



物資を降ろした所です。左は断熱材で右は缶詰その他です。



断熱材を敷いて寒さがしのげるようになったと喜んでいました。



避難している女性の方たちが協力して100人分の食事を自炊していました。



一人ひとりに配給していました。



マスクをしています但満面の笑みでお話してくれました。



ラストは支援物資のバイクにまたがりナイスショットのKOUSAKU とリーダーの千葉さんです。

このバイクで、なかなか物資が届かない奥地の仲間に必要なものを届けられると喜んでいました。確かに我々が届けるより現地の方が仲間に届けに行った方が間違いないと思いました。

初めて明友館に行った時から比べると見違えるようにみなさん元気ですが、家族や仲間を亡くして精神的に苦しい事をそっと話してくれました……。

まだまだ先は長い事を確信しました！

4月5日



皆さんからの支援物資をたくさん積んで出発しました。

今日は、皆さんから預かった義援金で買った野菜と支援物資として預かった野菜合わせて3トンと靴や生活物資を1トン合わせて4トンを運んで来ます。



鶴巣パーキングまで来ました！
あと5時間ぐらいかかるようです🙏



陸前高田の倉庫に到着しました。
 ここは避難所ではなく、この地域の方々は親戚や知人で高台の上にあるご自宅に10～15人のグループで共同避難しているので、一括した避難所が無いのでこのような倉庫で炊き出しと支援物資の保管をしていました。



前に見える段ボールの山はすべて今回4tトラックで運んだ物です。



正面みどりのジャンパーを着ているのがこの倉庫の上にある華蔵寺がご実家で船橋在住の畑山さんです。
 今回は畑山さんの弟さんと連絡を取り合ってここまでたどり着きました。



今回もまたまたトラックを出してくださり自ら運転して来ていただいたA-TRACK社長の守屋さん(右)常務の森本さん(左)往復24時間の長旅です。



正面赤いビブスを着ているのがベイエフエムDJのコウサクです。



野菜がたくさん届き笑顔があふれた瞬間です。



被災した方の中で支援物資を見て「あ～生きていけるんだな～」と涙を流していた方もいました。 20日以上同じ洋服を着ていた方もいましたが、やはり笑顔は素敵ですね。



陸前高田市小友町上新田の人達に届けました。

ここからは、陸前高田の街の様子です。

信じられませんが、この看板の後少ししてから景色が一変しました。



海まで10キロ以上離れている所で下の状況です。



コンクリートの建物がこんな状況です。



3階まで破壊されています。



アスファルトがメチャクチャです。



言葉になりません。



現在は違いますが、かつて千昌夫さんが建てたホテルです。



マンションの4階と5階の間まで……



ガソリンスタンドの上まで……



海の中に家が……



崖の上の山肌が削れています。下にコウサクがありますが高さが分かります。

陸前高田の復興はどのくらいかかるのか……

がんばろう日本！

千葉県中小企業家同友会で紹介されました。

か け は し

(株)日本都市 代表取締役 大原 俊弘 氏 東北関東大震災 支援リポート

石巻、昨日の報告。支援物資輸送編
(2011/3/29(火) 午前 11:02)



【大原俊弘氏】おはらとしひろ。株日本都市 代表取締役。同友会船橋支部幹事。昭和44年10月25日生。[清原まるごとこみ抱い]船橋地区・エコふなばし実行委員会代表などを務めるがたわら。国際ボランティアなど幅広い活動をおこなう。

【株式会社日本都市 概要】
(設立)1998年1月(本社) 船橋市藤原6-23-3(TEL) 047-429-1560 (FAX) 047-429-1559(資本金) 1,300万円(売上高)71,100万円/2007年(事業内容)交通安全施設業及び販売。道路・駐車場区画工事。土木工事。塗装工事。造園工事。電気工事。コイン駐車場工事。その他(URL)http://jc-g.co.jp

昨日の報告をさせていただきます。
支援物資輸送編と現地レポート編の2部構成です。



トラック後ろに積んであるのは床に敷く断熱材で「まるごみ義援金」で頂いた資金で購入しました。義援金を出して下さいました方、他にもたくさん緊急の品物を購入し運んでいます。まず感謝の気持ちを書かせていただきます。「ありがとうございます!」この日は2台のトラックで被災地に向かいました



朝6時から積み込みに協力してくれた人達です。



明友館に到着すると同時に皆さんにあたたかく出迎えていただきました。野菜は本当に不足していたようで、キャベツ! ニンジン! ねぎ! お〜トマト!! など声を出しながら喜びのリレーをしている所です。松戸大栄青果の社長、大量の野菜にみんな喜びを超えてビックリしていました!

25 地域 京葉 13 S

京葉

2011年(平成23年)3月29日(火曜日)

船橋のボランティア
石巻へ支援物資輸送
船橋市でみ抱い活動をしてるボランティアグループ「まるごみ」船橋市実行委員会が28日、支援物資をトラックに積み、同市から宮城県石巻市の避難所へ向かった。

実行委員長で土木工事会社経営の大原俊弘さん(41)は、知り合いをたよって現地で活動するボランティアグループと連絡を取り、支援物資が行き届いていない石巻市の避難所を紹介された。まるごみのメンバーや経路者の仲間同士で支援物資の提供を呼びかけたところ、松戸市の青果物卸売業者が野菜3トンを寄付してくれたほか、床に敷く断熱材約1000枚、米約6000、衣服などが集まり、船橋市のレンタカー会社が提供してくれた1台のトラックが白に積み込んだ。写真。

大原さんは「現地の要望や足りないものなどを聞いて、再度搬送したい」と話している。



海神小PTAの方々が集めてくれた衣類、芝山のパン屋さんの瀬之口さんの焼きたてパン、その他たくさんの生活用品をみなさんに配りました。支援物資や義援金を持ってきていただいた方々や日本全国のあったかい気持ちが届いた瞬間を感じました。支援を今後も続けます。同友会船橋支部HPにも情報掲載中!!!!

http://blogs.yahoo.co.jp/toshihiro_ohara

大原としひろブログで最新情報・緊急支援要請物資情報を発信中